

令和8年度 学校「学ぶ力」育成プログラム

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

学校番号：37004

実 態	「学ぶ力」	
	成 果	課 題
	◇ 学校アンケート「あなたは、 <u>学習に自ら取り組んでいますか</u> 」に対する肯定的回答が 85%を超える。 ◇ 学校アンケート「授業中、自ら疑問や課題をもって学習に取り組んでいますか」に対する肯定的回答が 75%を超え、「よくあてはまる」が前年度より 6 ポイント増加している。	◇ 学校アンケート「 <u>あなたは、普段から見通しをもち、自分で計画を立てて学習していると思いますか。</u> 」への肯定的回答が他の項目と比べるとやや低い。 ◇ 学校アンケート「難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦していると思いますか」への肯定的回答がほかの項目と比べるとやや低い。
	「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題	
	◇ 札幌市の共通指標「自ら進んで発言しようとしている」に対する肯定的回答が、他の項目と比べるとやや低いことが課題である。 ◇ 生徒会による「来年度、こんな学校にしていきたい」というアンケートでは、「あいさつの深化」「ルールやマナーを守る」等の声があった。 ◇ 学校祭では、相互評価として「東中クリスタル」というメッセージカードの取組を行った。来場した保護者にも参加してもらい、相互承認の機会を増やした。	
「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力		
・自分に自信がもてる（自己肯定感・自己有用感） ・自分の考えを適切に表現し、他者に伝えられる（表現力） ・人任せにせず、自分から行動できる（行動力） ・仲間のことを思いやり、協力できる（豊かな心）		
取 組	課題探究的な学習の推進 に向けて	自治的な活動の充実 に向けて
	(1) 研究主題「『主体的に学習に取り組む態度』を育む授業の交流と深化」に基づき、教職員が各授業の中で、 <u>自己決定の場や自己表現の場</u> 、相互理解を生み出す <u>対話の場</u> を設定する。 (2) 単元の学習課題の解決に向け、 <u>授業の見通しを立てたり、学習の振り返りをする場</u> を意図的に位置付ける。	①自治的な生徒会活動の充実 生徒の声を取り込んだ年間活動計画を作成し、学級・学年・外局・常任委員会との協力体制の中で進める活動の実施 ②さっぽろっ子サミットと関連を図った活動の充実 パートナー校と連携し、小中連携した自治活動を実施
	「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICT の活用について	
	◇単元のまとめや演習の時間において、教員がクラウド（Google Classroom など）に難易度や表現方法の異なる複数の課題（例：A.AI ドリルで基礎固め、B.教科書の問題を深く解説、C.発展的な思考問題、D.デジタルポスターで要約）を提示し、生徒自身に「今日の自分の課題」を選ばせるなど、学力差に応じた課題を生徒自身が選ぶ（自己決定する）ことで「自ら取り組む学習」へと変換させ、「主体的に学習に取り組む態度」の評価にも直結させる。 ◇主に①について、生徒会・委員会活動の「ペーパーレス化」の推進と、「オンライン意見箱」の設置を進める。	

<本プログラムの実行に向けて>

